

人続き 朱丹の鳥居 並び混み

歩幅を詰めて 君を呼び止む

令和六年一月十七日

大中臣正比呂



出エジプトの時、ユダヤ人は子羊の血を入口の鴨居と柱に塗って、神が殺す初子の難を逃れた。このネストリウス派のユダヤ人達は秦<sup>しん</sup>の滅亡後に日本に渡ってきたのだ。日本の神社は白木の鳥居であるが、秦<sup>はたし</sup>氏が開いた京都では神社は朱丹<sup>しゅたん</sup>の鳥居である。

教会にあるイエス磔<sup>たっけい</sup>刑像の頭上に掲げてあるINRIは罪状書きである。

IESVS NAZARENVS REX IVDÆFORVM (ラテン語)であり、

「ユダヤ人の王、ナザレのイエス」の神社が稲荷<sup>いなり</sup>神社である。